

59th

OBひろば

OGAKI JUNIOR BOARD

一般社団法人
大垣青年重役会
第59年度第11号
令和7年6月25日発行
www.ojb1966.com

第59年度
スローガン

出会いに感謝し、未来への挑戦を楽しもう

第59年度 研修旅行

『過去』と『未来』を学ぶ、体感する

と き： 6月13日（金）～6月14日（土）

訪問先： 1日目 株式会社 金剛組

2日目 EXPO2025 大阪・関西万博

参加者： 正会員30名
特別会員2名



株式会社 金剛組



ご講演される多田会長

株式会社 金剛組 多田会長からご講演頂くと
いう大変貴重な機会に恵まれました。
1400年という長い歴史の中で、どのよ
うに企業を存続させてきたか、どのよう
な変化を遂げてきたか、企業経営をする
上で大変学びのある機会を頂く事が
できました。



司会をする大平幹事長



挨拶をする堀会長



お礼を述べる松下副会長



質問をする会員



と き： 6月13日（金）
18：00～20：00
ところ： ホテルプラザオーサカ
ホテル内 宴会場
参加者： 正会員26名
特別会員2名

13日の夜には宴席が設けられ金剛組での講演内容など、初日の出来事を語りいながら懇親を深めました。

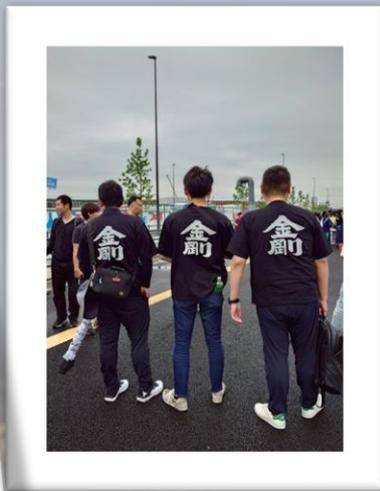


乾杯の挨拶をする浅野特別会員



中締め挨拶をする前田特別会員

EXPO 2025 大阪・関西万博



2日目には大阪・関西万博を視察し、多くの国々のパビリオンや先端技術を実際に体感しました。世界の文化・技術を日本にしながら体験できる素晴らしい機会に恵まれました。





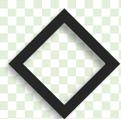
◇ 企業訪問 ◇

と き： 6月4日（水）
 ところ： 岐阜県安八郡安八町中875-1
 訪問先： 浅野撚糸株式会社
 参加者： 正会員 32名

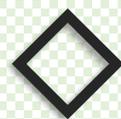


今回の企業訪問は岐阜県安八郡安八町にある浅野撚糸株式会社へ伺わせて頂きました。現在に至るまでに起きた多くの出来事・ドラマ、そして『大義』。ご講演にて多くの学びを得る事ができました。





研修旅行感想文



『歴史に学び、未来へつなぐ—第59年度研修旅行を振り返って』

会長 堀 佳一

まず初めに皆様のおかげをもちまして、第59年度の研修旅行を無事に終えることができました。ご参加いただいた会員の皆様そして特別会員の皆様に、心より感謝申し上げます。今回は、西暦578年創業という世界最古の企業・株式会社金剛組様を訪問させていただき、会長の多田様ご自身よりご講演を賜るという大変貴重な機会を頂戴しました。会員の皆様にとっても、今後の会社経営のヒントとなる内容が多くあったことと思います。また、QJBも来年で60周年という大きな節目を迎えます。今回学んだことを生かし、私たちの団体も、より歴史ある組織へと発展していけたらと願っております。さらに、愛知万博以来20年ぶりの開催となる大阪万博にも足を運ぶことができました。当日はあいにくの雨となりましたが、会員の皆様と共に貴重な体験を共有できたことを、大変うれしく思っております。貴重な2日間ありがとうございました。

『長寿企業の存続』

直前会長 川瀬 竜也

第59年度の研修先は、世界最古の企業「金剛組」様への訪問でした。普段の生業の経験から、事業を継続させることの難しさは少なからず理解しているつもりではありましたが、1440年を超えて事業を継続させるとなると、私にはとても想像もつかない世界のお話でした。四天王寺の正大工職という特殊な環境の中で、職人の技術が一度も途切れることなく継承され、その技術に誇りを持った職人達の想いが金剛組の事業をここまで継続させ得たのだと感じました。またその誇りは世間に波及し、幾度となく事業存続の危機に陥りながらも、周りの人々からの支援を得て、金剛組は一企業でありながら「日本に必要な企業」として存続しているのだと感じました。この貴重な研修を経て私も今後、自社の仕事に誇りをもち世間に必要とされる企業を目指して精進していきたいと思えます。堀会長、素晴らしい研修の機会をいただき誠にありがとうございました。

『大阪LOVER』

副会長 松下 元嘉

6月13.14日の研修旅行では、金剛組と大阪万博を訪れ、非常に有意義な経験をさせていただきました。世界最古の企業として知られる金剛組では、長い歴史と伝統を受け継ぎながらも、時代の変化に柔軟に対応されてきた姿勢に深い感銘を受けました。大阪万博ではあいにくの天候でしたが、多様な国の展示を通じて世界の広がりを感じることができました。ベトナム館しかしっかり見られなかったのは心残りですが、それでも印象深い体験となりました。夜の研修では参加者同士の交流も深まり、楽しく学びの多い時間を過ごせました。また機会があれば、ぜひ再び大阪を訪れたいと思えます。

『金剛プラザーズ』

幹事長 大平 晃嗣

今回は初めて旅行を企画する側として関わらせてもらいました。今までは楽しく参加するだけでしたが、企画、訪問先との打合せ、下見、参加方法の多様性をどこまで容認するか？といった事も含めて学びの多い行事となりました。今年度を含めて現役会員として研修旅行に参加できるのは今回も含めてラスト2回、来年は最後の研修旅行になるので必ず参加したいと思っております。訪問先の金剛組様は勿論のこと、参加していただいた皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございました。

『研修旅行に参加して』

例会幹事 野原 実

今回、執行部での事前打ち合わせもあり、幸運にも金剛組様からのお話しを2回に渡り聞かせて頂く事ができました。その中で私なりに学させて頂いたのは、変えていかなければいけない部分が多くある中で、変えないものを決める事の重要性です。自社におきましても、お客様から求められるものと、自社で提供できる強みを再度点検していきたいと思います。また2日目の万博では、浅野歴代、小林さんとの3名で回らせてもらい、大変充実した時間を過ごすことができました。この年齢で、こうした関係性を作らせてもらう事ができる重役会に改めて感謝の気持ちを持つとともに、参加して頂いた皆様にとっても、思い出に残る研修旅行となったのなら幸いです。

『研修旅行で学び感じた事』

会員幹事 東 潤一

大垣青年重役会に入って、2回目の研修旅行。一日目は、日本最古の建設会社金剛組の企業研修と、大阪万博の見学、体験をさせていただきました。金剛組の伝統と大阪万博の未来を学ぶ貴重な体験をすることができました。金剛組研修では、創業1400年以上にもなる、長い歴史の中で受け継がれてきた技術と精神に歴史の凄さを感じました。あと、木造建築に込められた宮職人の想いや、先祖代々守られてきた理念を学ぶことで、自分の仕事にも誇りと責任、そして自信を持つことの大切さを改めて実感しました。初日の研修も終え、夜の懇親会では、重役会の仲間と楽しく過ごす事もできました。そして2日目の大阪万博では、最先端の技術や全世界の最新技術に触れ、普段感じた事のない体験をさせていただきました。今回の研修旅行に参加してみて、どちらの研修も行く事を考えなかった、金剛組や大阪万博に参加した経験や、感じ得た学びを今後の事業やこれからの人生に活かしていきたいと思います。

「研修旅行を終えて」

広報幹事 杉野 辰彦

今回研修旅行に久しぶりに参加させて頂き、日本最古の企業金剛組様の多田会長の貴重なお話を拝聴させて頂きました。飛鳥時代から現在まで様々な危機を乗り越えられその中から、その時代に合った柔軟な経営をされ1400年続いてきた歴史技術伝統があり、現在の6つのリノベーション事業が宮大工の職人の匠の継承に繋がる新しい取り組みをされてみえ、社寺仏閣の建築で宮大工の職人の人材確保は会社を長く維持発展していくためには重要で、金剛組様では人材育成の塾もあり積極的に未来の宮大工育成を行ってみえ、自社でも今後の人材確保に向けた新しい試みとして貴重なキーワードを頂けたと感じました。多田会長はじめ社員の皆様、誠にありがとうございました。堀会長、幹事長、会員の皆様、貴重な2日間ありがとうございました。

『研修旅行に参加して』

会計 富田 一登

世界最古の現存企業として知られている金剛組も、時代の変化に飲み込まれ、既存の宮大工だけではなく新しい事業を展開しているとのことで、長く続くためには変化することが不可欠であることに気づきました。また、講演の中でちらっと出てきた松井建設は、金剛組と同様に宮大工で始まったものの、廃仏毀釈の中でいち早く近代建築を取り入れ、現在では上場企業として最も長い歴史を持つ（創業43年）企業であることを知り、早く変化に対応することの重要性に気づきました。両社から分かることは、時代の流れを読み取り、過去にとらわれず柔軟に変化し続けた姿勢でした。どれだけ強い想いや優れた技術があっても、形に固執し、変化を拒むものはやがて廃れ、歴史の中に埋もれていくのだと学びました。常に変化を見極め、変化に対応し、自らも変化できるよう努めていきます。この度は貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。

『歴史と未来の研修旅行』

監査役 小林 一嗣

1日目途中からの参加となりましたが、入会の53年度から久しぶりの研修旅行参加でした。日本最古の企業である金剛組様では多田会長から歴史を守りながら、時代に合わせて技術を伝承していく現代の金剛組様の取り組みを学びました。2日目はあいにくの雨模様でしたが、いろいろと話題の大阪関西万博を訪れました。賛否両論の大屋根リングは実際に見上げると壮大で、雨のやみ間に一周してみると、広い会場や海景色を一望でき、形も色も個性豊かなパビリオンを観覧するのにうってつけで、同行した浅野特別会員からも建築の研修を受講させて頂きました。（笑）日本の最古と未来。堀会長の59年度スローガンのように、両方学べる貴重な研修旅行となりました。

「FOR FUTURE」

例会委員長 加藤 貴裕

研修旅行で見つけるもの、今回は「過去と未来」でした。万博での出来事。ご存じ私はガンダム大好き、ガンダムのパビリオンがある、しかし予約は超困難、諦めの中でかかった言葉が、「かちゃん、当日予約取れたよー」。表情に出ないまでも、加藤の心中は喜びに弾け一緒に行動する皆様にはお断りしソロプレイ、完全に少年の心を取り戻していました。そしてふと思ったのは、「なぜ僕の好きが続くのか」ということ。世界中を巻き込む万博に、あらゆるサブカルを抑え出現したガンダムのパビリオン、「BANDA I」ではなく「GUNDAM」、この違いはとてつもなく大きいと思います。今回訪問した金剛組は創業1500年近い企業、続いてきたのは、そのルーツや文化を守る人がいること、担い手がいることです。過去続いてきた企業を知り、これからの未来を支える文化を感じた、研修旅行でした。

「最古の企業とこれからの未来体験」

研修委員長 山内 竜一

今回の研修旅行では、日本最古の企業・金剛組を訪問し、1400年続く企業の在り方に触れることができました。一見、長く続いている企業は盤石な体制を築いている印象を受けますが、実際には時代の波に翻弄されることも多く、現在も決して油断できないというお話が印象的でした。長く企業を存続させるには、リスクを徹底的に排除し、時には新しいことやワクワクすることをあえて抑える冷静な判断が必要であると学びました。また、大阪万博見学では、未来への期待とともに地域の変化を体感し、刺激を受けました。行き帰りのバスの中では、仲間と交流を深めることができ、充実した時間となりました。今後の仕事に活かせる多くの学びと、かけがえのない仲間との絆を得た有意義な研修となりました。

『伝統と革新』

ニューメンバーズ委員長 川合 琢也

まずは今回の大阪への研修旅行に参加させていただき誠にありがとうございました。様々な準備をされました堀会長をはじめ、執行部の皆様に感謝申し上げます。初日は世界最古の企業である金剛組を訪問し、伝統を守りつつも、時代の変化に柔軟に対応してきた経営姿勢に深く感銘を受けました。特に、技術継承と人材育成への真摯な取り組みは、企業としての根幹を支える重要な要素であると再認識しました。翌14日には大阪・夢洲で開催中の大阪万博を見学し、未来社会に向けた先進技術やサステナビリティの取り組みに触れました。ここでは「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもと、世界中から多様な価値観と知恵が集結し、新たな可能性を感じることができました。伝統と革新、両極に見えるこの2つの研修は、どちらも企業経営において欠かせない視点であることを実感することが出来ました。

『研修旅行を終えて』

ニューメンバーズ副委員長 廣瀬 史貴

まずは堀会長はじめ執行部の皆様、今回の研修旅行を企画していただきありがとうございました。とても学びの多い研修となりました。創業約1400年の株式会社金剛組での話の中で一番心に残った言葉が『誰かの役に立つことをしていれば必ず誰かが助けてくれる』でした。これだけ長く続く会社でも業績の浮き沈みはあり、破綻しそうになった時でも『金剛組を潰したら大阪の恥や』と周りの助けがあり現在に至るとの話を聞き、私も仕事だけでなく普段の生活においても誰かの役に立っているのかと考えさせられました。また、社寺建築という本業に拘りを持つ中で、マーケット縮小に対するソリューション事業として七つのことを挙げられていた点も大変勉強になりました。多様化が進む社会の中での在り方を学べました。今後もOJBを通して、自身の成長に繋げていきたいと思えます。

「長寿企業が守っているもの」

広報・PR副委員長 大野 兼嗣

仕事の兼ね合いで金剛組のみの参加となりました。どの企業においても必ず困難がありますが、創業から1447年と世界最古の企業となると一般企業より多くの困難がこれまでにあったことをよく知ることができました。また、後継者は血筋ではなく技術で選ばれることや、その人選も四天王寺の方からNGが出て再度人選をすることもあることに大変驚きました。弊社も長寿企業の仲間入りをしました。業種は全く違いますが同じ技術職として、今後も会社を続けるために何を守っていかなくてはならないのかを学ぶことができました。

『世界最古の企業訪問を経て』

広報・PR副委員長 飼沼 樹也

今回の旅行はスケジュールの都合が合わせられず、金剛組様の企業訪問のみ参加させて頂きました。金剛組様の企業訪問を経て歴史がいかに会社を育て、また社会的な貢献をしているかという事を学ばせて頂きました。1400年を超える歴史の中で、成長期、衰退期等様々な苦境がある中で先人の方々が奔走された過去のお話はとても感銘を受けました。四天王寺という歴史を持ったお寺を守り続ける大変さや、また守るだけではなく新しい事業への取り組みや地域貢献等語り継がれていく事の素晴らしさを深く学ばせて頂きました。今回学ばせて頂いたことを自社へ持ち帰り、生かされるようにさせて頂きます。旅行に参加された皆様ありがとうございました。

『研修旅行に参加して』

親睦副委員長 赤尾 徳雅

今期の研修先は世界最古の企業 株式会社金剛組様。恥ずかしながら今回まで観光地の社寺仏閣の修繕工事現場で社名看板を見たことがあるかな？というような知識だけでした。当日行きのバスの中では杉野広報幹事の司会によりクイズ形式で予習させていただきました。印象的だったのは世界の中で1000年を超える企業の実に半数は日本に存在すること。聖徳太子様を神としてまつる社。和を以て貴しと為すの言葉が自然と浮かんできました。日本古来からの考え方が企業経営において重要なことを裏付けるデータである印象を強く受けました。また歴代会長から頂いた言葉で、迷ったときはどちらが人の為になるか？を考えること。その結果何か事が起きても周りが助けてくれる。なぜなら周りがほっとかないからだ。。。非常に短い時間ではありましたが深い学びのある研修となりました。2日目は今話題の万博！少々雨には降られましたが暑さも和らぎ思い出に残る観覧ができました。

『研修旅行に参加して』

足立 貴保

このたびは研修旅行に参加させていただき、1400年以上の歴史を持つ世界最古の企業・金剛組を訪問する貴重な機会をありがとうございました。長い伝統を守りながらも、現代の社会に合わせて柔軟に挑戦を続けておられる姿に、深く感動しました。専属の宮大工の方々による繊細で力強い技術や、クラウドファンディング・リユース事業といった新たな取り組みから、「守ること」と「変えていくこと」の両方の大切さを学ばせていただきました。また、大阪万博では、世界各国の文化や考え方に触れることで新鮮な刺激を受けるとともに、未来的なシステムによって運営されている様子がとても印象的で興味深かったです。そして何より、一緒に研修に参加された皆さまとさまざまなお話ができ、交流を深められたことがとても嬉しく、心に残っています。今回の経験を、これからの自分の行動や選択にしっかりと活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

「OJBの思い出は大阪の空に高く舞い上がって」

上野 和幸

現役会員としては最後の旅行だった。初めて行ったのは福岡だった。色々なとこに連れて行ってもらった。思い出すのは研修先というよりは、みんなと杯を酌み交わした夜の事ばかり。素敵だったり、悔しかったり、浮かれたり、沈んだり、愛し合ったり、振られたり、様々な夜があった。そんな思いを一人胸に抱きながら、大阪の夜は更けていった。こんな楽しい会の最後に涙は似合わない。ご一緒して頂いたみんなのおかげで、心の底からの笑顔で終える事ができた。今までOJBで関わる事ができた全ての人達にありがとう。100年経ったら誰も何も覚えていないだろうけど、楽しかった日々は僕の中では永遠です。

『大阪研修旅行の感想』

臼井 俊治

世界最古の企業「金剛組」での研修、大変勉強になりました。同じストーリーをもった集団が1400年も続いたことに感服し、その思いの強さに感動をしました。二日目は、早めにお暇し、万博を見ることはできませんでしたが、充分楽しむことができました！！ありがとうございました。

『充実の二日間』

青木 信秀

1日目は創業1400年以上という長い歴史を持つ金剛組様を訪問させていただき、深い感銘を受けました。代々受け継がれてきた技術や伝統を守りながらも、時代の変化に柔軟に対応する姿勢が印象的でした。また、伝統の重みと未来への挑戦が共存していることを実感しました。このような貴重な企業の在り方を学び、自分自身の将来にも生かしていきたいと思っています。2日目の大阪万博はほとんど予習なしで訪れたため、どこを回ればよいか分からず、予約無しで入れるパビリオンを無計画に歩き回ってしまい、とても疲れました。その中でも世界中の文化や最新技術に触れることができ、とても刺激的な体験となりました。本当に充実した研修旅行を企画していただいた第59年度役員の皆様に感謝いたします。

『未来へのパス』

金森 実輝彦

世界最古の企業と云われる金剛組での研修にて私が知りたかったのは「自由市場と伝統のジレンマ」「その点を克服する新たな仕組み」「同族・親族経営の限界」の3点でありました。明治の文明開化の頃より徐々に失われていった中世の有徳思想に支えられた仕組みは、約150年を経て限界を迎えつつあるのではないかと私は以前から感じており、その象徴の1つが金剛組であったからです。「政府は文化財保護よりも福祉にお金を使いたいようで・・・」という言葉が妙に耳に残りました。私なりに得た解は長くなるので割愛するとして、かのアーセン・ヴェンゲルは「パスは未来へ出せ」という名言を遺し、その弟子たちに多大な影響を与え、後に日本サッカー界を大きく躍進させました。当研修を経て、私はどのような良い影響を未来にパスできるのか、と考えさせられる毎日であります。このような貴重な機会を戴けた堀会長を始めとする今期役員の皆様に御礼申し上げます。

『2度目の研修旅行』

兒玉 天馬

飛鳥時代から続く世界最古企業金剛組への研修と、大阪・関西万博の視察という貴重な機会をいただきありがとうございました。1000年以上続く企業の魅力・努力を体感し、ただ続けるだけではなく新しい事に挑戦する長寿企業の秘訣について深く学ばせて頂きました。また大阪・関西万博では最先端技術を見て触れて、これからの我々に何が必要で何が求められているのか改めて考えることが出来ました。続ける底力と未来への進化と二日間でたくさんの事を学べました。自社へ持ち帰り、今後しっかりと活かしていきたいと思っています。昼の研修、夜の研修共に楽しむことが出来ました！会長をはじめ役員の皆様、旅行へ参加された皆様本当にありがとうございました。

「研修旅行に参加して」

鈴木 一勝

金剛組は世界最古の建設会社であり、その長い歴史に深く感銘を受けました。飛鳥時代から続く伝統を守りつつ、時代の変化にも柔軟に対応している姿勢は非常に印象的です。技術だけでなく、人のつながりや信頼を大切にしてきたことが、永続の秘訣だと感じました。日本のものづくりの精神や、職人の誇りを今に伝える金剛組の姿勢に、学ぶべきことが多くあると強く思いました。また、次の世代へ技術を残す取り組みとして人材確保の為に塾開設は、今後の職人業界において大変必要な事業の1つだと感じさせて頂きました。

「金剛組 講演会」

浅井 絵里子

今回は初めての研修旅行に参加させて頂き、講演会をととても楽しみにしておりました。金剛組社長様の熱い思い、お話を直接聞くことが出来てとても感動致しました。飛鳥時代である、1445年前から脈々と受け継がれていることがよくうかがえました。四天王寺のお抱え大工として西暦578年から続く金剛組は幾度の苦境を乗り越え、事業継承の難しさや向き合ってきた事をお話の中から肌で感じる事が出来ました。技術者としての誇りを決して失わず、会社としても存続し続ける強い思いを是非これからの企業継承の中で大切にしていきたいと感じました。貴重なご講演を聞かせて頂き、ありがとうございました。

「研修旅行を終えて」

大角 宣士

今回、金剛組の研修に参加し、日本最古の建設会社としての歴史と技術力に深い感銘を受けました。1400年以上続く企業の姿勢に触れ、大工という仕事の奥深さと、後世に技術を繋いでいく責任を再確認しました。特に、伝統を守りながらも時代に変化していく柔軟性には学ぶべき点が多く、自分の仕事にも生かしていきたいと強く感じました。研修を通じて、今後も誇りをもって大工という職に向き合い、次の世代へと技術を継承していく大切さを改めて実感しました。

「金剛組研修」

常富 誠勝

このたび金剛組での研修に参加させていただき、木工家具業に携わる者として非常に貴重な学びの機会となりました。長い歴史を持つ金剛組の講演を通じて、受け継がれてきた伝統技術や職人としての精神に触れ、自分の仕事への向き合い方を見直すきっかけとなりました。特に、「匠育成塾」による人材育成の取り組みには深く感銘を受けました。技術を次代へつなぐだけでなく、心や姿勢までも伝えるその姿勢に、ものづくりの本質を感じました。伝統を守るだけでなく、新たな試みにも挑戦する金剛組の姿勢は、今後の自分の在り方にも大きな示唆を与えてくれました。このような貴重な研修に参加できたことに、心より感謝申し上げます。

『研修旅行を振り返って』

佐竹 勇治

今回の研修では、世界最古の企業である金剛組を訪問させていただき、その長い歴史について学ばせていただきました。その中で、匠育成塾という塾を通じて、若手職人の育成に力を入れている点が印象的でした。また、定期的開催される工場見学会では、日本のみならず世界各国から来場者が訪れており、金剛組の伝統技術に対する国際的な関心の高さを感じました。二日目の万博は、予約がとれなかったためパピリオン見学は限られましたが、大屋根リングや実物大ガンダム像といった巨大建築物を間近で見ることができ、大変満足できる体験となりました。二日間を通して、普段の例会とは違った会員同士の交流が生まれ、研修旅行に参加してよかったなと感じております。このような貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

『研修旅行参加の御礼』

高田 大輔

この度はOJBの研修旅行に参加させて頂き誠に有難うございました。会長を始め幹事の皆様におかれましては、お忙しい中、準備運営等、誠に有難うございました。お陰様で大変有意義な2日間を過ごさせて頂きました。初日の金剛組様の企業訪問では1400年という長い年月の会社の存続には、特化した技術、時代に合わせた経営・仕組みが必要であり、四天王寺さんとのご縁、後継者の選定等、今回深くまで明かされなかった所にも様々な物語があるのだらうと感じました。大変刺激を頂きました。2日目の万博は、雨ではありましたが、4つのパピリオンを回る事ができました。私の周りでは、まだまだ行った事がない方が多く、体験する機会を頂いた事が本当に貴重でした。何故、万博を行うのか、それぞれの国が何をメッセージとして伝えようとしているのか、もう一度家族を連れて訪れて、子供にも一緒に考えさせたい気持ちとなりました。初めての研修旅行でしたが、いつにも増して打ち解けた会員の皆さんの雰囲気で大変楽しく過ごさせて頂きました。海外も検討して頂いているとの事で、次回も楽しみにしております。有難うございました。

「伝統と未来に触れて」

目黒 雅仁

金剛組様の企業訪問では、1400年以上という日本最古の企業の歴史と、長い年月を超えて受け継がれてきた職人の技術や、多田会長の想いに直接触れることができ、大変感銘を受けました。伝統を守りながらも、新たな挑戦を続ける姿勢に、現代を生きる私たちにとっても多くの学びがありました。また、大阪万博の視察では、すべての会場を見ることはできませんでしたが、未来の社会や暮らしに向けたさまざまな取り組みを実際に目にすることで、自分自身の価値観や考え方にも新たな刺激を受けました。今回得た学び気づきを、今後の活動や仕事にしっかりと活かしていきたいと考えています。

「研修旅行」

宮嶋 憲一

まず金剛組に訪問させていただき、1400年以上続く歴史と伝統の重みを改めて感じました。宮大工としての技術力や精神が脈々と受け継がれ、継承が血筋で無いという所に、何としても屋号を絶やさない信念に感銘を受けました。万博ではメディアで噂されている事など特に無く、百聞は一見にしかずという事を改めて感じました。また、同期や先輩方との交流もいつもよりあり、より絆が深まった良い研修旅行でした。

◇ お知らせ ◇

7月例会及び特別総会

とき・ところ	令和7年7月9日(水) 18:45~21:05 大垣フォーラムホテル 大垣市万石2-31
演題	『創業と守成』
講師	セイノーホールディングス株式会社 代表取締役社長 一般社団法人 大垣青年重役会 顧問 田口 義隆 先生

※建物一部取壊し工事中の為、ホテル駐車場が一部使用不可となっております。お車でお越しの際はホテル北側駐車場をご利用下さい。

第2回飲んで語る会

とき	令和7年7月9日(水) 21:10~22:30
ところ	大垣フォーラムホテル
会費	5,000円

※当日の欠席につきましては、後日会費を徴収致しますのでご了承願います。

OJB広報・PR委員会

大垣青年重役会

<https://ojb1966.com/>

E-mail: ojb_public@outlook.jp

広報・PR委員会 川瀬勇樹 大野兼嗣 飼沼樹也 寺澤武虎

※SNSの投稿に関して顔出しNGの方はご連絡下さい

